

連携排砂10年経過後の状況等について

土砂の供給等により海岸の砂浜が拡大している。



大きな粒径の土砂の供給不足により 河床低下が進行し 愛本床止め工が被災した。

被災前 H23.4.26

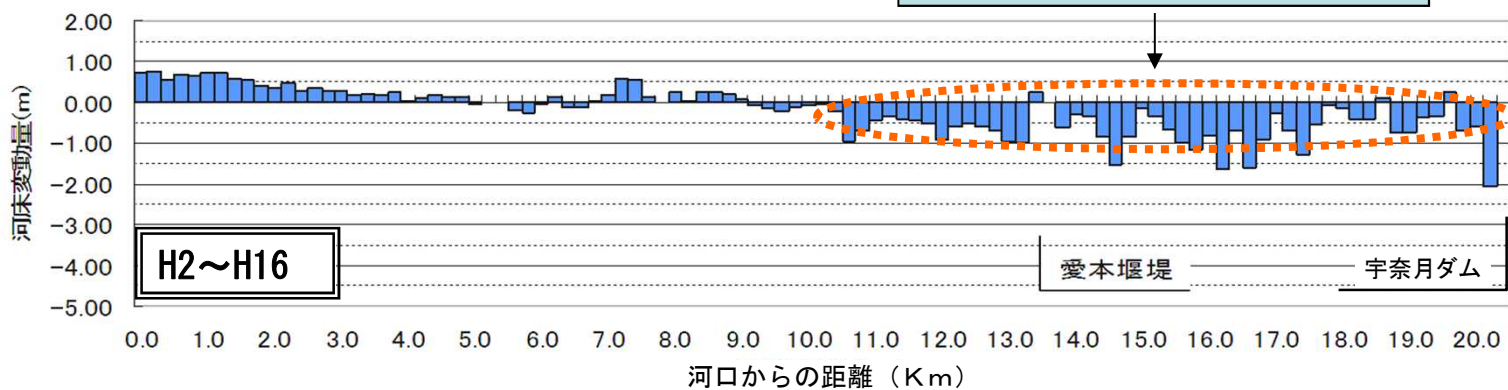


被災後H23.7.17

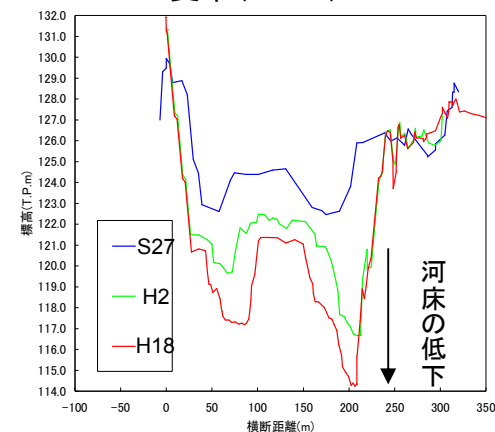


河床低下により被災した愛本床止め工

ダム下流は河床低下傾向にある

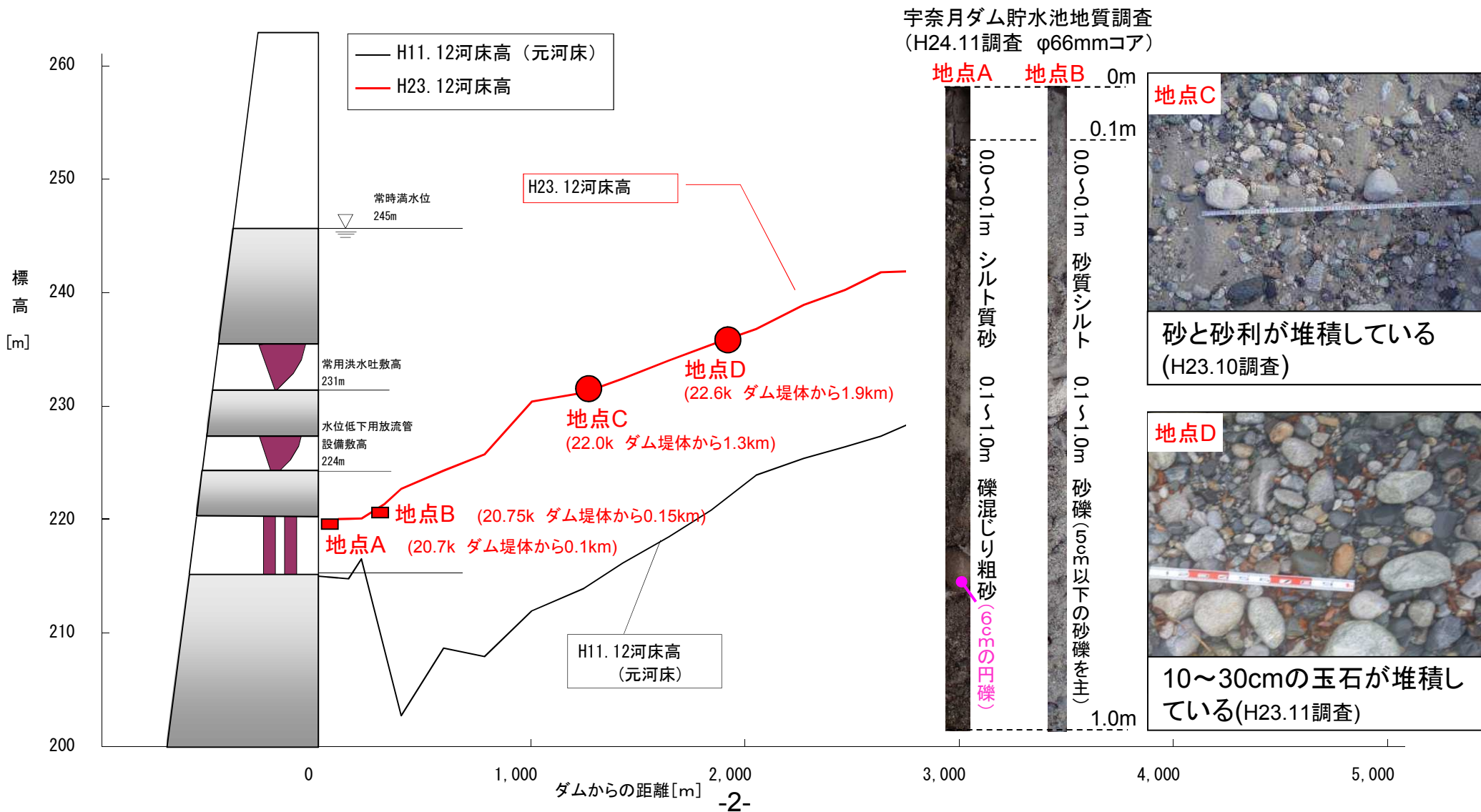


愛本(13.0k)



連携排砂10年経過後の状況等について

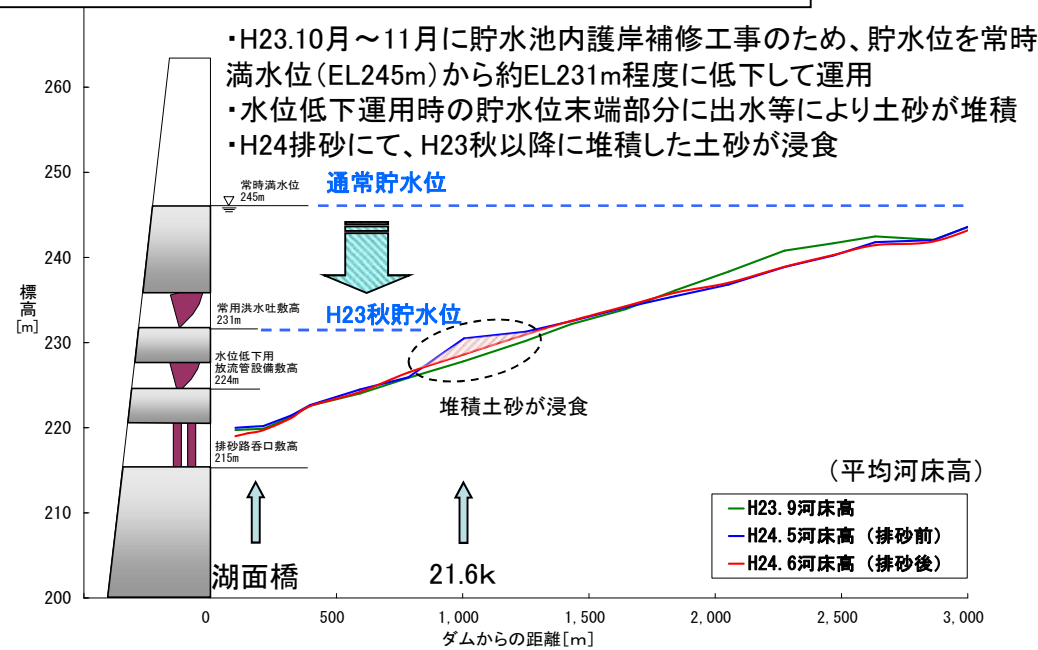
大きな粒径の土砂がダム貯水池上流には堆積しているがダム付近にまで、まだ流れてきていない。



連携排砂による貯水池内等土砂移動状況について

- ・H24連携排砂時において、21.6k付近に堆積していた土砂が削れて流下したと推測される。
- ・下流河川に供給された粗い粒径の土砂の絶対量は少ないが、ダム直下流において比較的粗い粒径の土砂堆積が確認された。

宇奈月ダム貯水池縦断形状の変化 (H23.9~H24.6)

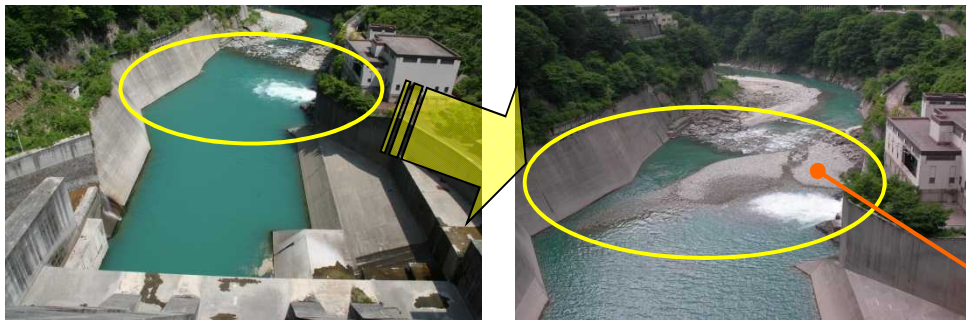


貯水池内においてバケツ大 (H: 約25cm x B: 25cm) 程度の粒径の土砂が確認できる

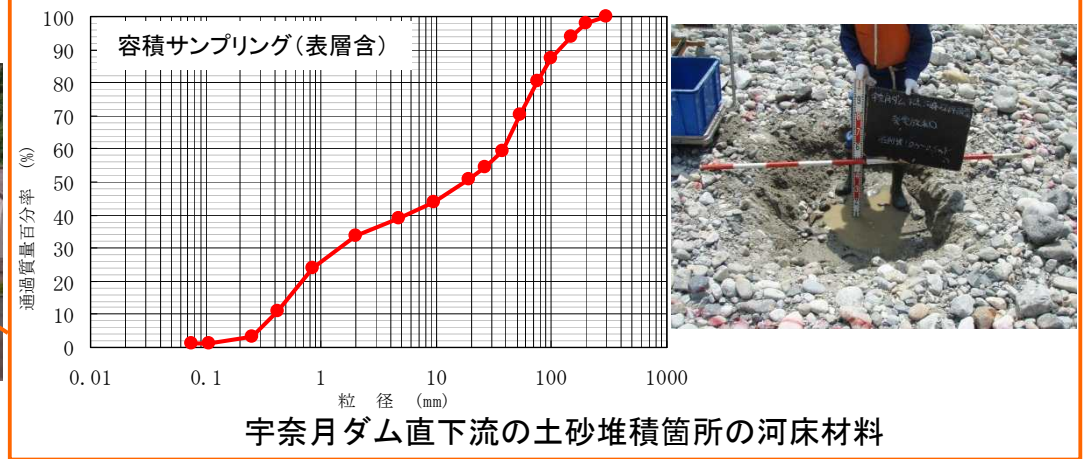


排砂時の貯水池内の状況 (H24排砂時撮影: 湖面橋上より (ダム堤体上流200m地点))

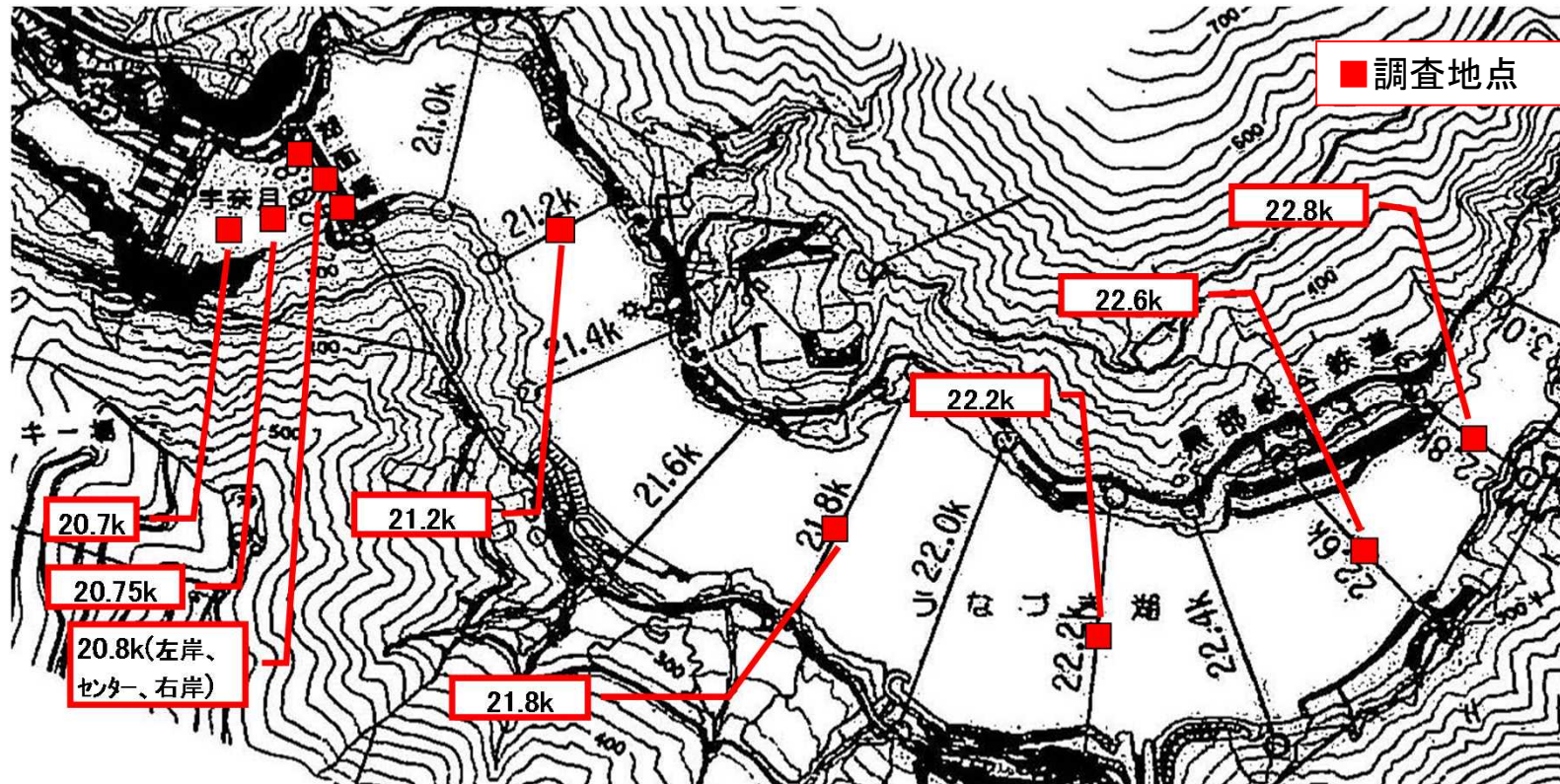
宇奈月ダム直下流に礫質の土砂堆積が確認できる



宇奈月ダム直下流の状況 (左: H24.5排砂前撮影 右: H24.6排砂後撮影)



宇奈月ダム湛水池ボーリング調査 位置図



平成24年 調査地点一覧表 (作業期間:平成24年10月~12月)

調査地点	掘削深度	調査数
20.7k	5.10m	1地点
20.75k	7.45m	1地点
20.8k(左岸側)	7.45m	1地点
20.8k(センター)	7.45m	1地点
20.8k(右岸側)	5.45m	1地点
21.2k	18.45m	1地点
21.8k	20.00m	1地点
22.2k	20.45m	1地点
22.6k	18.00m	1地点
22.8k	18.00m	1地点
		計 10地点



ボーリングコア視察会実施状況(平成24年11月9日)